

Doctorに聞こう!

質問編

変形性膝関節症(5月28日掲載)に関連して、読者から膝の症状や治療法についての質問が寄せられた。広島市民病院(中区)の出家正隆特任病院長(61)に答えてもらった。(鈴木大介)

変形性膝関節症

回答

広島市民病院

出家正隆特任病院長



高齢でも手術できる?

80歳過ぎてからも普通

Q 81歳の母は両膝が痛み、ここ数年でO脚が進んでいます。病院で定期的にヒアルロン酸注射をしています。なかなか痛みが和らぎません。最近では「もう年だから仕方ない」と気力を失っています。80歳を過ぎて手術による治療は可能でしょうか。

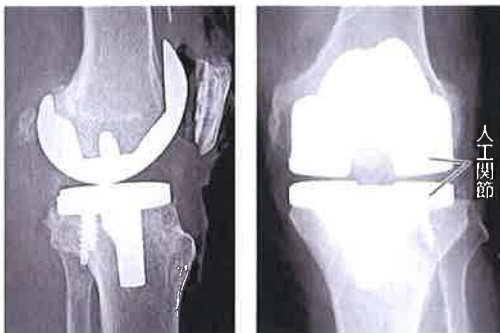
(東広島市・農業女性・55歳)

A ヒアルロン酸注射は関節の動きを滑らかにし、痛みを軽減します。ただ、最初はよく効きますが、徐々に効き目が減ります。変形性膝関節症で70歳以上の患者の平均年齢は80歳くらいです。一方、90歳以上になると体の機能の個人差が大きいため、手術が可能かどうかは主治医とよく相談してください。

人工関節手術を検討中

1〜2週間で歩行可に

人工関節に置き換えた膝の엑스線写真
(出家特任病院長提供)



Q 膝の痛みがひどいので人工関節の手術を考えています。手術ができる病院はどのように選んだらいいのでしょうか。また、術後のリハビリや退院後の生活はどのようにになりますか。

(三原市・講師女性・62歳)

A 人工関節置換術は整形外科領域の中で、国内で2番目に多くされている手術です。近くの医療機関でも実績があるので、主治医の紹介に従うのがよいと思います。

一般的に、手術後の入院は2〜3週間、退院後のリハビリは3カ月ほどの通院が必要になります。歩行は術後1〜2週間すれば可能です。手術

費用は医療機関や自己負担割合によって異なりますが、手術や2〜3週間の入院代を合わせて50万〜60万円ほど。高額療養費制度が使えますので、患者が実際に払う費用はかなり抑えられます。

改善策は 現状の維持 意識しよう

Q 昨年から両膝が痛み、2週間に1回、ヒアルロン酸を注射しています。平らな場所は歩けますが、下る時が少ししんどいです。長年農業をしているせいか、症状がなかなかよくなりません。グラウンドゴルフもしています。改善する方法はないでしょうか。(東広島市・農業女性・73歳)

A 改善というよりも、今の状態を維持することを意識してはどうでしょうか。73歳の膝を80歳過ぎて保つことができれば、若返ったという考え方もできます。

農業やグラウンドゴルフは継続してください。ヒアルロン酸注射も続けていいですが、調子がよい時は月1回でもいいでしょう。筋力は現在の活動で保たれると思いますが、膝の可動域は意識しないと狭くなるので、入浴中やお風呂上がりにはしっかりと膝を伸ばしたり曲げたりするように心がけてください。大腿で歩く可動域が広がります。

膝の水を抜きたくない

炎症強くないならOK

Q 変形性膝関節症と脊柱管狭窄症で通院しています。時々膝にたまった水を抜いてもらおうのですが、痛くて抜きたくありません。抜かなかつたら何か支障があるのでしょうか。

(広島市東区・無職女性・70歳)

A 膝関節は関節包と呼ばれる膜に包まれ、内部に関節液という水分があります。軟骨がすり減ると、軟骨の小さな破片が滑膜を刺激して炎症を起こし、関節液の分泌が増えます。これが「膝に水がたまった」状態です。

基本的に水を抜かなくても問題はありません。ただ、炎症が強く、膝が突っ張って曲げるのが難しければ抜いた方がよいでしょう。また、急に膝関節が熱を持ってきた時は細菌の感染や偽膜風などの可能性があるため、関節液を検査することがあります。